

京都府環境基本計画の進捗の 確認方法等について

府民環境部 脱炭素社会推進課

2023年1月18日（水）

13:30～15:00（オンライン：Zoom）

（京都府環境審議会総合政策・地球環境合同部会資料）

第2回合同部会（9/29）における説明資料

（1）昨年度の公表

- 昨年度の進捗の評価については、速やかに公表する必要があるため、本日、公表案（京都府環境白書で公表予定）について御審議いただきたい。

（2）次年度以降

- 前回の御意見を踏まえ、次年度以降の進捗確認の方法について、今後、御審議いただきたい。

第5章（分野横断的施策の展開の方向性）

- 第5章は、環境分野以外の複数分野の課題解決に資する分野横断的な施策展開の方向性を示すもの。

第6章（環境課題の分野ごとの重点取組）

- 第6章は、第5章の分野横断的施策の展開の方向を踏まえて取り組む、環境課題の分野ごとの重点取組を示すもの。

今後の進捗確認方法の方向性（案）

第6章の取組については、

- ① 個別計画に基づき定量的に進捗確認を行い、（各部会での点検結果等を取りまとめ、）
- ② 加えて、第6章の取組が第5章で示した「分野横断的施策の展開方向」に沿って実施できているかどうかを、府が各ステークホルダーの意見収集等を行いながら、整理した上で（主に「定性的把握」を想定）
- ③ その結果を審議会にて検証いただく

第5章と第6章の位置付けについて

京都府の地域特性に応じた取組を展開

第5章 分野横断的施策の展開方向

第6章 環境課題の分野ごとの重点 取組の推進

① 持続可能な脱炭素社会に向けた取組の加速化

② ゼロエミッションを目指した2R優先の循環型社会の促進

③ 安心・安全な暮らしを支える生活環境の保全と向上

④ 自然と生活・文化が共生する地域社会の継承

① グリーンな地域経済システムの構築

② 環境と調和のとれた強くしなやかな社会の実現

③ 地域資源を活用した持続可能な魅力ある地域づくりの推進

④ 健康で質の高い持続可能なライフスタイルへの転換

⑤ 持続可能な社会づくりを支える人づくりの推進

第1回・第2回合同部会における主な意見

- 進捗状況の評価手法として、「メトリクス管理」に基づいて、事業の実施状況の「プロセス管理」とそのアウトカムとなる「プロダクト管理」の両面からの評価が重要。いずれも数値化が難しいことも理解。
- 啓発事業を通じて一定の理解が府民に浸透してきたと思うが、行動変容に繋がっていない。啓発だけに頼らない、行動変容等を促す仕組みづくりを政策的に進めていくことが重要。
- 第5章、6章の各項目の評価に関して、取組事項の点検（表）と点検結果の評価の関連性が見えにくい。
- 計画上は環境審議会が進捗状況を検証することとなっているが、最終的な評価は、府民が行うということを念頭に置き、府民が生活の質の向上を実感できるなどの総合的な評価に繋がるように進めていくことが重要。
- 進捗状況の点検は、府庁の内部業務の管理だけが目的ではなく、府民への公表を前提にしているものであれば、指標、総合的評価、見える化といった視点が重要となる。本年度の評価では難しいと思うが、将来的には外部の協力も求めながら、そういった視点での評価を検討されたい。
- 次年度以降の評価については、若い世代の評価を加えることが重要。
- 次年度以降の評価について、属性分析等を通じて事業者や府民の声を適切に反映することが重要。
- 各主体に府が個別にヒアリングするだけでなく、各主体が集まって議論することも重要。

次年度以降の進捗管理のイメージ

- 進捗については、取組の実施状況の「プロセス管理」と、そのアウトカムとなる「プロダクト管理」の両面からの点検を検討

京都府における自己評価

プロセス管理

庁内の取組の実施状況を確認

本日まで審議いただきたい事項

★両面から評価

プロダクト管理

<指標による評価>

各個別計画の
進捗の点検

<府民・企業等による評価>

(数値評価)

(定性評価)

(1) ①
府民向けアンケート

(1) ②
府民との対話 (府民会議等)

(2) ①
団体・企業向けアンケート

(2) ②
団体・企業との対話

環境審議会における検証

- 京都府の自己評価の結果について、環境審議会にて検証を行い、進捗管理を行う

府民・企業等による評価の内容（案）

（１）府民による評価

①府民向けアンケートの実施（※2023年（令和5年度）に実施予定）

- ・ 約5,000人（最大）の府民を対象に、WEBアンケートを実施
- ・ 具体的なアンケート項目については今後検討

②府民との対話（府民会議（仮称）の開催）（※2024年（令和6年度）以降に開催を予定）

- ・ 京都府温暖化防止推進員や若い世代（WE DO KYOTO!ユースサポーター、高校生など）の参加を想定
- ・ 2050年の京都府の将来像などについて意見交換を実施

（２）団体・企業による評価

①企業向けアンケートの実施（※2023年（令和5年度）に実施予定）

- ・ 約1,000社程度を目標に、企業向けWEBアンケートを実施
- ・ 具体的なアンケート項目については今後検討

①企業・団体へのヒアリング（※2024年（令和6年度）に実施予定）

- ・ R5年度に実施するアンケート結果を踏まえて取組が進んでいない業種などにヒアリングを実施

(1) ①府民向けアンケートの実施方法

- 約5,000人（最大）の府民を対象に、WEBアンケートを実施
- 本計画で目指す社会の実現度合い（府民の実感）や府民の行動変容、環境問題に対する意識について5段階評価で確認
⇒属性（年齢・性別・居住地）ごとに、結果を分析

<属性区分（案）>

- 年齢区分：18～29歳／30～49歳／50～69歳
- 居住区分：丹後・中丹管内／南丹管内／京都市・乙訓管内／山城管内

<設問構成（案）> ※具体的なアンケート項目については今後検討

柱1. 目指す社会の実現度合い（府民の実感）について

- 第5章①～⑤の各展開方向に沿って取組を進めた結果、目指す社会に近づいていると、府民が実感できているかを確認
Q 1.【第5章①】…、Q 2.【第5章②】…、Q 3.【第5章③】…、Q 4.【第5章④】…、Q 5.【第5章⑤】…

柱2. 目指す社会の実現に向けた行動変容について

- 目指す社会の実現に向けて、府民自らの行動変容が進んでいるかを確認
Q 1.【第5章①】…、Q 2.【第5章②】…、Q 3.【第5章③】…、Q 4.【第5章④】…、Q 5.【第5章⑤】…

柱3. 府民の環境意識（認知度）について

- 環境問題の基礎的なキーワード（「生物多様性」等）に対する府民の認知度（環境問題への関心度）を確認
Q 1.【キーワード①】…、Q 2.【キーワード②】…、Q 3.【キーワード③】…、Q 4.【キーワード④】…

アンケート項目案：①目指す社会の実現度合い（府民の実感）について

- 第5章の各展開方向の実現度合い（目指すべき社会との乖離）を確認するに当たり、設問の「粒度」が検討課題（アンケート対象となる府民に分かりやすく「目指す社会」を具体化する必要があるが、具体化することで限定的な設問になることを懸念）
- ➔ 府民にとってわかりやすい表現にするため、「4・5」の具体性でアンケートを実施（※「1～3」については必要に応じて市町村等に確認）

■ 第5章①（グリーンな地域経済システムの構築）の場合の例示

グリーンな地域経済システムの構築

- AI・IoT技術を活用したシェアリング・エコノミーや気候変動適応ビジネスなどによる新たなサービスやグリーンな製品に対する需要の拡大を図るとともに、環境ビジネスの振興や、環境に配慮した企業経営等を促進することにより、人や暮らしにもやさしい環境負荷の低減と経済の好循環を生み出す取組を展開していきます。

Q. 以下の各項目に対して、当てはまるものをお選びください。

	考え方	具体的な設問のイメージ		
1	「大項目」を引用	府内において グリーンな地域経済システムが構築されている と感じますか？	抽象的	包括的
2	「説明文」を引用	府内において 環境負荷の低減と経済の好循環が生み出されている と感じますか？	↓	↑
3	「目指す社会」を具体化	環境にやさしい製品の販売等を行う企業が評価される社会 であると感じますか？		
4	「府民意識」に置き換え	環境にやさしいライフスタイルを選択する 意識が浸透している と感じますか？		
5	「行動変容」に置き換え	日々の暮らしの中で環境に やさしい製品・サービスを選択 していますか？		

【選択肢】 1. 全く感じない / 2. どちらかといえば感じない / 3. どちらともいえない / 4. ある程度感じる / 5. かなり感じる

アンケート項目案：②目指す社会の実現に向けた行動変容について

- 第5章の各展開方向の目指すべき社会の実現に向けた府民の行動意識を確認するに当たり、様々な行動（取組）が想定され、また自らの行動に対する評価には主観が伴うことを懸念

→ 回答者ができるべく同じ尺度で回答できるように、具体例を提示

Q. 以下の各項目に対して、当てはまるものをお選びください。

	大項目	具体的な設問のイメージ（具体例含む）
第5章①	グリーンな地域経済システムの構築	環境にやさしい製品やサービスを選んで購入されていますか？ （具体例）リサイクル製品の選択、CO₂排出量の少ない製品の購入 など
第5章②	環境と調和のとれた強くしなやかな社会の実現	地域の防災・減災力強化に資する取組を行っていますか？ （具体例）太陽光・蓄電池の導入、雨水タンクの導入 など
第5章③	地域資源を活用した持続可能で魅力ある地域づくりの推進	お住まいの地域が自然豊かで活力のある魅力的な地域になるような活動を行っていますか？ （具体例）植林・里山保全活動への参加、河川の清掃活動 など
第5章④	健康で質の高い持続可能なライフスタイルへの転換	環境にやさしく、かつ健康的な（質の高い）暮らしにつながる選択をしていますか？ （具体例）住宅の省エネ改修、シェアサイクルの活用、高効率家電への買替 など
第5章⑤	持続可能な社会づくりを支える人づくりの推進	地域の豊かな自然環境を将来に引き継ぐ取組に参加されていますか？ （具体例）地域の環境活動への参加、地球温暖化防止活動推進員制度の活用 など

【選択肢】 1. 全くしていない / 2. あまりしていない / 3. どちらともいえない / 4. ある程度している / 5. かなりしている

アンケート項目案：③府民の環境意識（認知度）について

- 進捗評価・検証に加え、次回見直し検討（2025年頃）に向けたデータ収集の観点から、府民の環境意識調査を実施
→ 具体的には、環境問題に対する基礎的な認識を測る問を想定

Q. 以下の言葉やその意味について、当てはまるものをお選びください。

環境問題に対する基礎的な認識を測るキーワード（例）

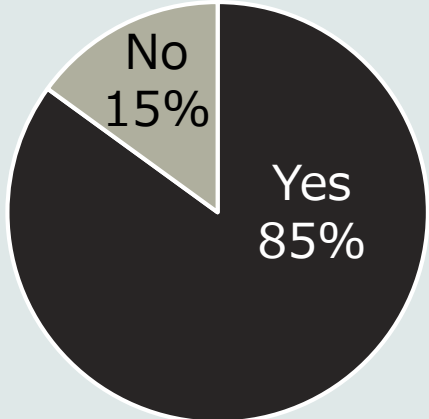
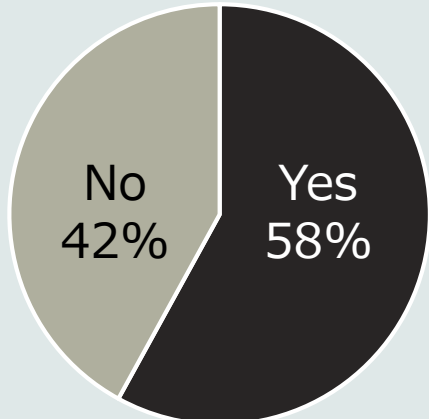
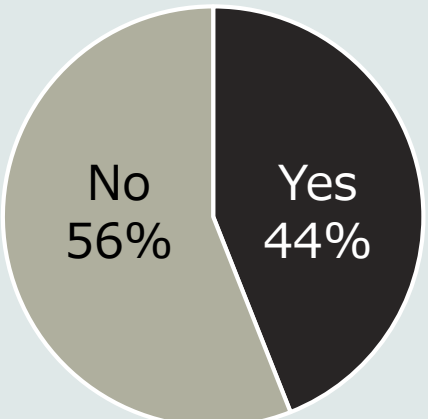
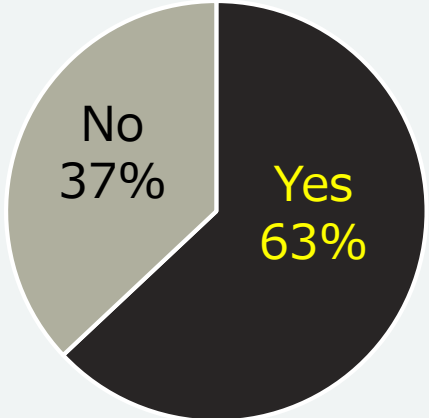
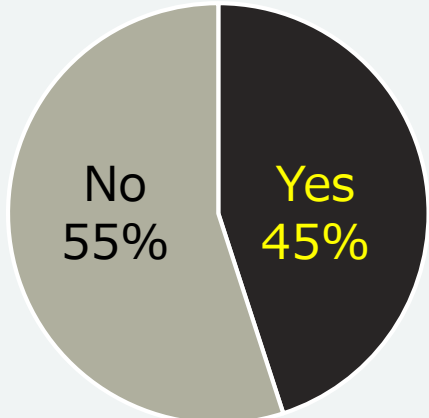
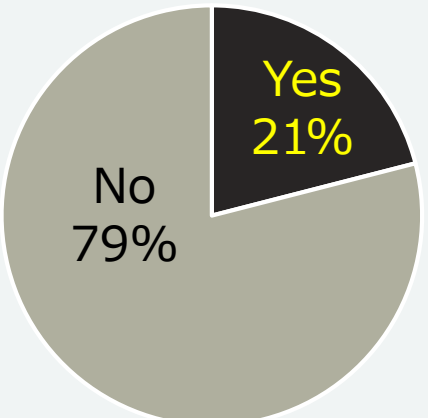
- | | | | |
|----------------|---------------|------------|----------------|
| ・カーボンニュートラル | ・エシカル消費 | ・生物多様性 | ・WE DO KYOTO ! |
| ・パリ協定 | ・食品ロス | ・レッドデータブック | ・KYOTO地球環境の殿堂 |
| ・I P C C | ・3 R | | |
| ・Z E B / Z E H | ・サーキュラー・エコノミー | | |
| ・気候変動適応策 | ・グリーン購入 | | |
| ・E S G投資 | | | ・S D G s |
| ・R E 100 | | | |
| ・EV / FCV | | | |

- 【選択肢】
1. 聞いたことがあり、意味もよく理解している
 2. 聞いたことがあり、意味は概ね理解している
 3. 聞いたことはあるが、意味は知らない
 4. 聞いたこともない

(2) ①企業向けアンケートの実施方法

- 府内に事業所等がある企業（約1,000社程度）を目標に、WEBアンケートを実施
- 府民向けアンケートと同様の考え方で、企業に対して目指す社会の実現度合い・行動変容・環境意識について調査を実施

【参考】府内企業の脱炭素化意識調査結果（2021年8月） 回答：466件（大企業31%、中小企業69%）

	Q 脱炭素化に向けた動きが加速していると感じている。	Q 今後事業をする上で脱炭素化は必須だと考えている。	Q 脱炭素化の取組を進めている。												
大企業	 <table border="1"><tr><td>Yes</td><td>85%</td></tr><tr><td>No</td><td>15%</td></tr></table>	Yes	85%	No	15%	 <table border="1"><tr><td>Yes</td><td>58%</td></tr><tr><td>No</td><td>42%</td></tr></table>	Yes	58%	No	42%	 <table border="1"><tr><td>Yes</td><td>44%</td></tr><tr><td>No</td><td>56%</td></tr></table>	Yes	44%	No	56%
Yes	85%														
No	15%														
Yes	58%														
No	42%														
Yes	44%														
No	56%														
中小企業	 <table border="1"><tr><td>Yes</td><td>63%</td></tr><tr><td>No</td><td>37%</td></tr></table>	Yes	63%	No	37%	 <table border="1"><tr><td>Yes</td><td>45%</td></tr><tr><td>No</td><td>55%</td></tr></table>	Yes	45%	No	55%	 <table border="1"><tr><td>Yes</td><td>21%</td></tr><tr><td>No</td><td>79%</td></tr></table>	Yes	21%	No	79%
Yes	63%														
No	37%														
Yes	45%														
No	55%														
Yes	21%														
No	79%														

今後のスケジュール（案）

2023年度（令和5年度）

- 7月～8月 **府民向けアンケートの実施**
団体・企業向けアンケートの実施
- 10月 総合政策部会（計画の進捗状況の点検）

2024年度（令和6年度）

- 7月～8月 **府民会議（仮称）の開催**
団体・企業へのヒアリングの実施
- 10月 総合政策部会（計画の進捗状況の点検 + 計画の見直しについて議論）

2025年度（令和7年度）～※計画の見直し（策定から5年程度が経過した時点）